

@campus

REC

宿舎祭特別号
全大会の広報誌

May.2023



05.26-27
298x81031

ゆかコン

出場団体 代表者 インタビュー

6団体が浴衣を着てパフォーマンスを競い合うゆかたコンテスト。メインステージにて祭のクライマックスを飾る。本番に向けて練習に励む個性溢れる魅力的な各団体の特色と、チームを表す漢字一文字を代表者に聞いた。



メインステージ
5/27(土) 18:45-20:10
表彰式 20:15-20:50

Comparative girls!

情熱を形に～Comparative girls!～

「受験生の頃から YouTube でゆかコンを見ていて、どうしても出てみたかった」と「Comparative girls!」代表者の高橋玉緒さん（比較文化学類1年）は話す。そんな彼女の情熱に魅せられてメンバーも集まり、練習するうちに互いのことを知って絆も深まった。

パフォーマンス前半では、「比較」をポジティブに捉えられるようになっていく様子をストーリー仕立てで届け、後半はゆかコンをエネルギーに表現する。物語のテーマに合った、フレッシュで元気な曲にも注目したい。

一番の見どころは、クライマックスにメンバーが生歌を披露するところだ。「生歌のリスクは大きいですが、全力を尽くす自分たちの情熱をぜひ感じ取ってほしい」と高橋さんは語る。チームを一文字で表すと……「華」



たかしまたまお
高橋玉緒さん
比較文化学類1年
ステージ・団体代表者

つくむすめ

「つくむすめ」、2度目の挑戦

「つくむすめ」の代表を務めるのは、甘南備由香さん（応用理工学類2年）だ。

「つくむすめ」は昨年に引き続き2回目のゆかコン出場で、チーム名の由来はアニメ『ウマ娘 プリティーダービー』だ。「昨年出演した際、たくさんの方に好評で嬉しかった。ゆかコンの良さをもっと多くの方に知ってもらいたくて今年も出演しようと思った」という。

パフォーマンスは昨年に引き続きアニメにまつわるものが多いが、新メンバーや昨年から今年にかけて流行した曲など、新しい要素も取り入れている。見どころはサイリウムダンスと寸劇で、寸劇は自分の学生生活と比べながら見てほしいという。「見ている人だけでなく、自分たちも笑顔になれるパフォーマンスにしたい」と甘南備さんは意気込みを語る。チームを一文字で表すと……「笑」



かんなびゆか
甘南備由香さん
応用理工学類2年・ステージ・団体代表者

メイド in つくば

大正時代からメイドがやって来た!

「メイド in つくば」のメンバーは Twitter を介して集まった学生が多いため、さまざまな学類の人で構成されている。メンバー同士の仲が良く、毎日集まってはチームコンセプトやパフォーマンスを決めるために試行錯誤しているという。

ステージ代表者のめいぶるさん（工学システム学類3年）は現代視覚文化研究会の喫茶班でメイドをしており、「私たちの強みは世界観だ」と語る。衣装とダンスで華やかさを、曲で大正レトロな世界観を演出する。パフォーマンスは歌とダンスを中心に構成されており、団体代表者のそえさん（芸術専門学群1年）は「なかでもラップパートは見どころだ」と魅力を語った。

チームを一文字で表すと……「雅」



めいぶるさん
工学システム学類3年・ステージ代表者

天気下り坂46

かけ 空を翔る

「地球学類らしいこと……気象分野……天気、と考えて名前を『天気下り坂46』とした」と、ステージ代表者の久保山襟裳さん（地球学類1年）は話す。

出演するメンバーは男女9人全員が浴衣を着てパフォーマンスをする。また、メンバー全員がソロやセンターになる機会があり、それぞれが主役として活躍するそうだ。練習では、全員同じ地球学類だからこそ時間を多くとることができ、仲を深めながら自分たちのパフォーマンス力を上げているという。

当日はアイドルの「坂道シリーズ」から選んだ、雨をモチーフにした曲や浴衣で踊ると映える曲をパフォーマンスする。「特に傘を使った振り付けや、最後のソロで歌う乃木坂46の「シンクロシティ」をぜひ見に来てほしい」と久保山さんは語る。チームを一文字で表すと……「空」

P小町

アイドル 完璧で究極の「物理」

チーム名「P小町」は、現在放送中のアニメ『推しの子』に登場するアイドルグループB小町と学類の英語名である Physics が由来だ。「P小町」は、佐藤七海さん（物理学類1年）の勢いで結成された11人組の団体に、メンバー全員の各々の個性が際立っている。

当日は「アイドル」という YOASOBI の曲に合わせたパフォーマンスを行う。佐藤さんは「推しの子」に寄せた演出の中にも、物理らしさがあることに注目してほしい」と話す。

団体のメンバーは勢いとパワーがあり、ノリもいいという。また、メンバーの家に集まって練習や話し合いを行うなど、団結力も高いそうだ。「メンバーの特技を詰め込んだパフォーマンスに期待してほしい」と話す。

チームを一文字で表すと……「勢」

고구마빵 (こぐまぱん)

浴衣×K-POP で新しい驚きを!

チーム「こぐまぱん」は、「浴衣で K-POP を踊ったら面白いのではないか」という声により、「こぐま」というダンスサークルから有志が集まって結成された。団体代表者のつちだまさん（応用理工学類3年）はチームのテーマについて、韓国と日本の文化の融合だと語る。韓国の音楽グループの TWICE や BTS の曲を、浴衣に合うようにアレンジした振り付けで踊るといふ。また、浴衣に合わせた小道具や衣装小物にもこだわり、今までに無いパフォーマンスを目指すそうだ。

「浴衣を着てあえてカッコいい曲を踊ることで、驚きを与えられたら」とつちだまさんは意気込む。国境を越えた「新」しいパフォーマンスに注目だ。

チームを一文字で表すと……「新」



くろだ ゆか
黒田結佳さん
地球学類1年・団体代表者



いけだ みう
池田未宇さん
物理学類1年・ステージ代表者



にし ゆう は
西佑巴さん
社会学類2年・ステージ代表者



宿舎祭とは

Campus

全大会の広報誌
宿舎祭特別号
2023年5月25日発行

筑波大学宿舎祭、通称『やどかり祭』とは、毎年5月に行われる新入生を中心に交流を促す行事だ。縁日、ゆかたコンテスト、火文字、野外ライブ、ストリートパフォーマンスなどのさまざまな企画が実施され、活気に満ちた2日間となる。

開学とほぼ同時にスタートした歴史のある宿舎祭だが、過去3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止、または規制のあるなかでの開催となった。今年の第49回宿舎祭は、4年ぶりに規制のない開催だ。学類等の1年生を中心に多様な出店が行われる縁日では、今回から飲食の出店が再開。御輿も復活するなど、昨年よりさらに充実したものとなる。

今年の宿舎祭は26日の前夜祭と27日の本祭の2日間、平砂宿舎周辺の至るところで企画が行われ、人々を楽しませる。昨年よりパワーアップした宿舎祭を、心から楽しみ盛り上げていこう。

編集長 菅原 由乃

発行人 篠崎 健太

表紙デザイン 高塚 絢湖

編集委員 太田なみ糸

菅原 由乃

甘利康志朗

高橋 伊織

山根 千幸

近藤あかね

大谷 美琴

小林慎之助

山本 詩温

山田 美浩

山下 大樹

菅原 由乃

和田 優斗

川島淳一郎

高橋 愛果

水野 舞優

松本 英愛

岡本 翔太

高塚 絢湖

佐藤 涼穂

江波戸憧音

熊谷菜々恵

高田梨々子

勝又 玲

佐藤 凌

篠崎 健太

榎本 陽子

太田 祈心

鈴木 史磨

発行 全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議
広報委員会

<https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/>

(zdk@stb.tsukuba.ac.jp)

